川遊びINFORMATION

基礎から紐解く テンカラの教科書

本誌にも登場したテンカラ大王こと石垣尚男氏が、テンカラの始め方やコツを大公開。初心者にとって頼れる一冊／超明快レベルラインテンカラ(1620円)
つり人社　tsuribito.co.jp

振り心地の良さを実現した 長尺テンカラ竿

軽量化と風切り抵抗の軽減を実現した本流用テンカラロッド。キャスト精度、取り込み時の安定性も高い／本流テンカラNP　(3万4700円)
SHIMANO　fishing.shimano.co.jp

渓流域をフルカバーする スタンダードなテンカラ竿

様々な渓流域を1本でカバーできるテンカラ竿。初心者でもキャストのタイミングを取りやすく、軽いレベルラインを楽に飛ばせる／渓流テンカラZL (2万7000円)
SHIMANO　fishing.shimano.co.jp

熊野で川遊びなら くまの・川遊び部へ！

世界遺産の地、熊野(和歌山・奈良・三重)にある美しい川・谷・滝を案内してくれる。沢登りなどの川遊びをサポートしてくれるから、初心者でも安心(要事前連絡)。
www.kumakawabu.com

田園風景の中に佇むカフェで 手作りの味にほっこり

熊野で川遊びをした時には立ち寄りたいカフェ。手作りのピザやヒマラヤカレー、スイーツ等が味わえる。ヨガ体験もできる。
サンサロ カフェ
www.facebook.com/sansaroKumano

沢で飲むのはこれ！ 安心の無農薬和紅茶

沢は夏でも寒いことがあり、温かい飲み物は必須。珈琲ではなく紅茶が似合う。熊野の温暖な気候で育まれる和紅茶はここで購入！
どこでもそら
dokodemosora.com

川遊びスポットを 手軽に見つけられる！

全国各地の川遊びスポットがルート検索や地図で簡単 に見つけられ、読み物など を通して川の魅力を再発見できるサービス。
川遊びマップ　www.kawa-asobi.net

ネットで気軽に 川を守る活動を支援しよう！

河川を中心とした流域環境改善に特化したクラウドファンディング。様々な活動を知ったり、ネット上で好きな環境団体を応援できる。
カワサポ　www.kawa-supporters.net

水辺環境を“見える化”！ 画期的な業界新サービス

水辺環境のデータを収集・分析し、地図上にマッピングする市民参加型の水辺環境改善ネットサービス。
AQAMP(アクマップ)　www.aqmap.info

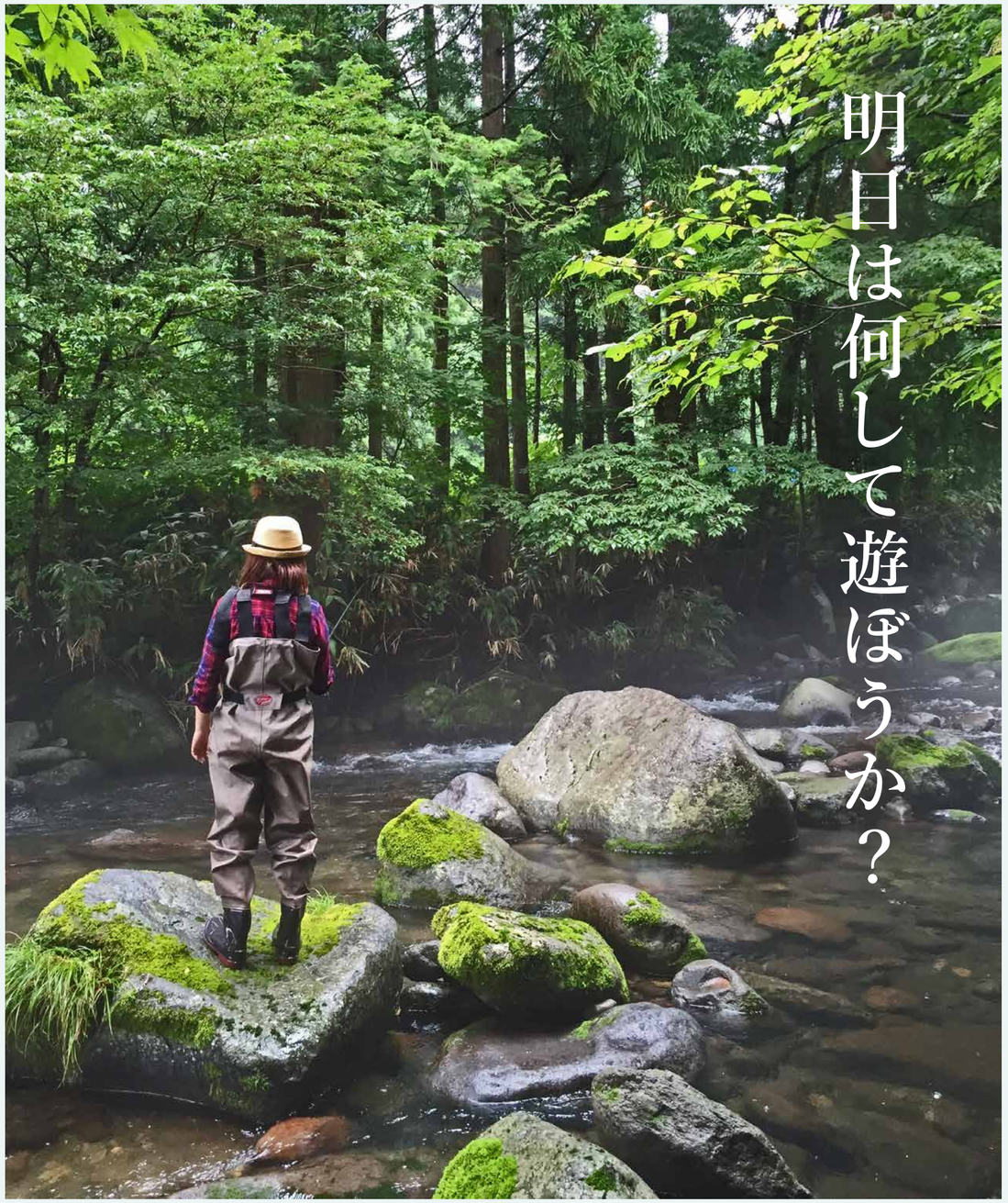
The River Times Vol.1 2015年8月1日発行

編集：川遊びマップ www.kawa-asobi.net　／　発行：一般社団法人ClearWaterProject
所在地：〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目17-13 名興ビルディング 2F
TEL：052-228-6181　／　Email：support.jp@clearwaterproject.info　／　HP：www.clearwaterproject.info
※実際に川で遊ぶ際は、安全に配慮し、ルールとマナーを守りましょう。

The River Timesはデンソーグループはあとふる基金の助成を受けています。

The River Times

川ガキだった川オヤジに贈る、川遊び新聞



人にも川にもやさしい身軽な釣法「テンカラ」

道具も釣り方もいたってシンプル！

竿とライン、そして1種類の毛バリ、たったそれだけで完結する釣り、テンカラが今注目を集めている。河川の上流域である渓流を主な釣り場とするテンカラは、シンプルな釣法ながら、その奥深さと、自然との一体感にはまってしまう。

テンカラの歴史は古く、元々は日本の川漁師が伝統的に行ってきた釣りであるため非常に効率的だ。「狙った場所に打ち込み、食い気のある魚だけを釣るという簡単な手法。自然に準じた釣りをすれば確実に釣れる」とテンカラ大王こと愛知工業大学教授の石垣さんは話す。フライフィッシングのように毛バリを頻繁に交換することもなく、コツはいかに自然と一体化できるか。自然にまかせた釣り、といえるのだ。

待たない、攻めの釣り

多くの釣りは仕掛けを流して魚を待つ。しかし、テンカラは待たない、攻めの釣りである。打ち込み、3秒毛バリを流すとすぐに流すラインを変えて再度打ち込む。多くとも3回同じポイントに打ち込めば、もうそこの魚は食いつかないと判断し、次のポイントに移動。

絶えず動きのある釣りがテンカラだ。ゆるやかに移動を繰り返し、終日川を歩きながら釣る。例え釣れなくとも、美しい川を存分に楽しめるだろう。いや、ちゃんと釣れるのだが。

魚を警戒させない

バシャバシャと音をたてて川を歩くのは、魚たちに「あなた達を釣りに来ましたよー」と宣告する、あるいは泥棒がわざわざ「さあ盗みに来ましたよ」と言っているようなものだ。だから、猫足で歩くなど、極力音を立てずに行動すること。狙いたいポイントから離れて、自然に同化するつもりで。（川遊びマップ・伊藤）

テンカラ大王名言集

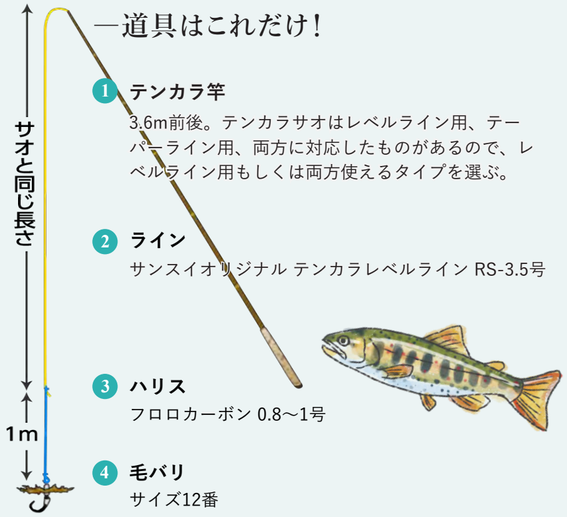
- 魚は流れてくるものはとりあえず食い付く
- 道具が中国製か日本製とか魚がわかるわけがない
- 数を競う釣りは、貧しい釣り
- 少なく釣って、たくさん楽しむ
- 日本の渓流に合った釣りをすれば釣れる
- 毛バリが何色かなんか魚は見ちゃいない

教えてもらったのはこの人

愛知工業大学教授 石垣尚男さん

テンカラ歴30年以上。国内だけでなく、アメリカなど海外でもテンカラ普及活動に努めている。著書は『超明快　レベルラインテンカラ』（つり人社）等。DVD『テンカラ大王のアタリパターン解析 テンカラHit Vision』（つり人社）にも出演。

デビューガイド



The River Times

のぼる!? すべる!? うかぶ!?
今年こそ、沢デビュー!

自然体感!
源流を目指し、全身を使って進め!

「沢登り」、「シャワークライミング」という言葉を聞いたことがあるだろうか?森の奥深くに位置する源流部を目指して、清冽な川を登っていく遊びだ。水が流れ落ちる岩場を登ったり、滝の横の巨岩を這いつくばって登ったり、深い淵を泳いで進んだり、自然に合わせ、全身を使い進んでいく。

今回訪れたのは、和歌山・滝本北谷。熊野古道で名をはせる山々からは清らかに澄んだ水が流れ、太古より自然が作り上げてきた美しい景色に心が満たされていく。

—景色が吹っ飛ぶほど滑り抜ける

—滝壺に打たれ、自然の激しさを体感する

—魚たちと一緒になって川を泳ぎまわる

—妄想にふけりながら緩やかな川を歩く

沢登りに細かいルールは存在しない。自由に沢を楽しんでみよう。予測不能な面白さが待っている!

本能が目を覚ます
フィールドへ飛び出すのだ

どんな遊びにも安全管理が求められる昨今。でも安全って一体なんだろう?自然相手なら、自分の安全は自分で守るのみ。あえて予測不能な場所に身を置くことで、身を守る術を身につけられる…のかも?沢登りは単なる登山とも全く異なる。野生の本能が呼び起され、帰り道では何とも言えない充実感に包まれるのだ。いざ、自然が生み出す非日常体験へ!(川遊びマップ・田中)

デビューガイド

—どうやって始める?

初めての沢デビューは、経験がある人に同行してもらおう。

1. 登山ガイドなどのコースに申し込む
2. 山岳会など経験豊富なメンバーが揃う団体と一緒に行く

のいずれかが一般的。①は有料の場合が多く、一度きりの単発体験型。②は無料の場合が多く、継続的にサポートしてもらえることもある。どちらを選ぶかは個人の好みだが、装備等は貸し出しを行っているところもあるので、まずは希望のガイドや団体に連絡をとってみよう。

教えてもらったのはこの人

今回ご案内したところ以外にも、驚くほど綺麗な川や滝がまだまだあります。熊野にぜひ遊びに来てください。

くまの・川遊び部
www.kumakawabu.com

源流釣り

沢登り×釣りで
川を味わいつくせ！

贅沢の極み!?
川を堪能する遊び

源流釣りは、「沢登り」と「釣り」を一緒に楽しんでしまおうという究極の川遊び！どちらも単体で十分に楽しめるのだが、組み合わせることで2倍…いや、それ以上の面白さに発展する。山深くの自然を生き抜く魚たちを釣り上げることで、狩猟本能をくすぐられるだろう。

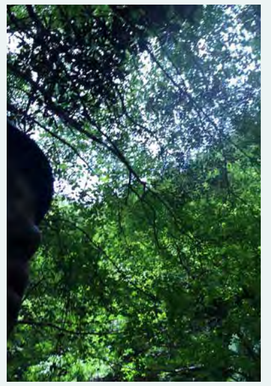
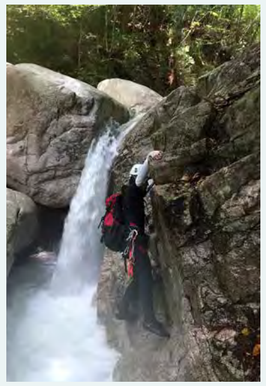
シンプルなテンカラは
源流釣りにうってつけ！

道具は竿、糸、毛バリだけというテンカラ。ザックに、マウンテンバイクに、カヌーにとどこにでも忍ばせて持ち歩けるから、源流釣りに向いている。いいなと思った場所で足をとめて、すぐに投げ始め、ササッと片づけてまた移動。気の向くままに楽しめる。（川遊びマップ・田中）

デビューガイド

—気を付けることは？

釣った魚をさばいて食す楽しみもあるが、キープする魚はおいしく食べられる量にとどめよう。1人が10匹持ち帰るだけであっという間に魚はいなくなる。豊かな自然に感謝し、次の世代にこの環境を残すことを忘れずに。

ガサガサ

裏の川で、すぐ遊べる
出てこい！生き物たち

川の中を足でガサガサ…

街中の川でも遊びたい！というなら「ガサガサ」がおすすめ。流れの下流に魚獲り網を構えておき、草の根元を蹴ったり、砂底をかき混ぜたり、石をひっくり返したり…その名の通り、川の中を「ガサガサ」させる。驚いて出てきた生き物たちをつかまえる、というなんとも手軽な川遊びなのだ。

子どもたちの好奇心が目覚める！

ガサガサは親子での川遊びにもぴったり。最初は恐る恐る川を探索する子どもたちも、生き物に出会えた瞬間、表情を変える。「何かいた！」という喜び、驚き。すくい上げた網を見つめる、真剣な表情。子どもは、生き物がいたら楽しいに決まってるのだから。（川遊びマップ・伊藤）

デビューガイド

—どこでやる？

身近な川でOK！街中の川でも網さえあれば楽しめる。気軽に始めてみよう。

—どんな生き物がいる？

街中の川でも、メダカ、フナ、コイ、ドジョウ、エビ、カニ、ザリガニ、カメ…とたくさんの生き物たちに出会える。他にも、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリも！「これはなんていう名前？」と親子で調べれば、自由研究にもなりそうだ。